

3Dマンモ



3Dマンモとは
管球を移動させながら、低線量で連続的にX線を照射し、複数の位置から撮影して、画像をつくります

今までの装置と外観は同じ

2Dマンモ

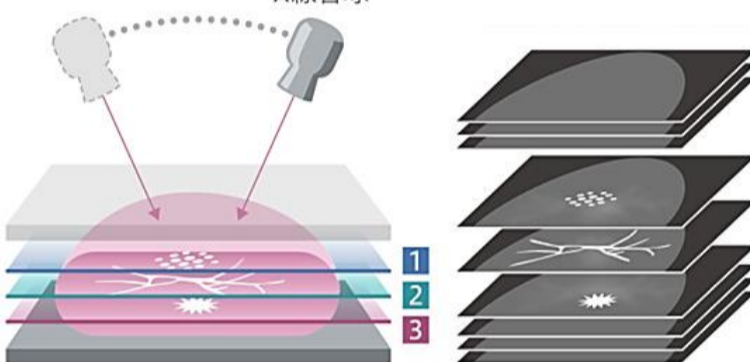
通常のマンモグラフィ

厚みのある乳房を1枚の画像で表示
そのため 1石灰化 2乳腺 3腫瘍が重なって写っている



1石灰化 2乳腺 3腫瘍を1枚で表示

X線管球



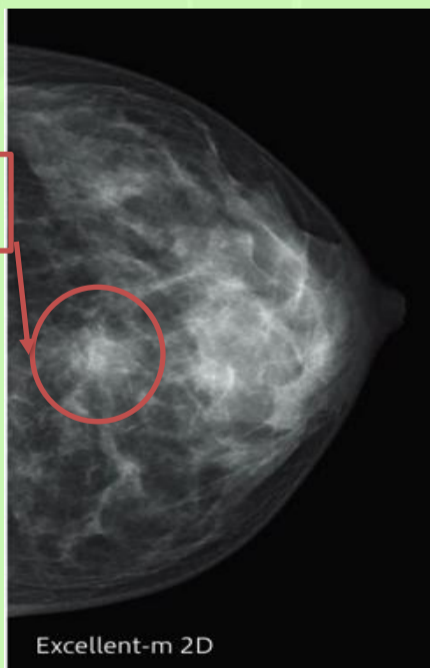
3Dマンモ

厚みのある乳房を数ミリ
間隔で15枚の画像をつくる
それにより1石灰化 2乳腺 3腫瘍が
1枚ずつに写っている



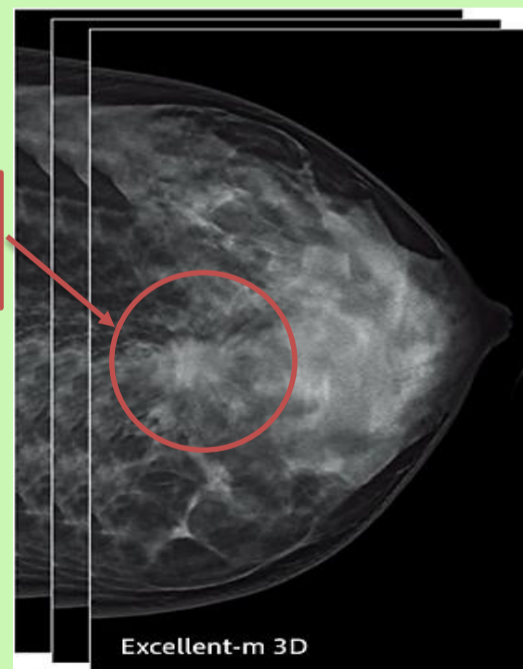
画像の違い

病変が乳腺と重なって表示 (2乳腺と3腫瘍)



病変と乳腺が重なって写ってしまう
(当センターではこのような画像
は要精密検査と判定しています)

1枚で病変だけを
はっきり表示できる
(3腫瘍だけ)



病変がある厚さの画像を1枚ずつ
あらわすため病変だけをはっきり
写すことができる

2D ↔ 3D

☆撮影時間は今までの2D撮影より1回につき10秒くらい長くなります
☆被ばく線量は今までより多くなりますが2mGy以下と基準範囲内です